



NPO法人石狩国際交流協会



ご挨拶



特定非営利活動法人
石狩国際交流協会
会長 佐藤 真彰

会員の皆さまには、当協会の活動にご理解とご協力をいただき厚く御礼申し上げます。

当協会は、石狩市と姉妹都市提携を結ぶカナダのキャンベルリバー市、ロシア極東に位置するワニノ市、中国四川省の彭州市との交流事業を担当するほか、石狩市内に居住する外国人の方々が快適に暮らし、安心して生活や仕事に取り組めるよう公私両面にわたり支援する事業を行っております。

昨年は、多くのボランティアの方々のご協力を得て、石狩市に居住し働く外国人を対象に「さくらんぼ狩り、ゆかたde出かけようin石狩、秋のくだもの狩り、国際交流×パークゴルフ、クリスマスLEDリース作り」などを開催いたしました。事業に参加した外国人の方々には、大変好評をいただくことが出来ました。また、定期的に開催した日本語サロンも、多くの外国人が日本語を習得できる機会として大変好評を得ました。これも多くの日本語サポーターの活躍の賜物であります。

国際交流は言語・風習や生活習慣が異なる国々の人々との交流であり、各国の人々の考え方や生活習慣を理解した上で取り組まなければ、誤解を生みやすいものであります。

今現在、石狩市には1,000人を超える外国人労働者が居住しております。労働人口が激減している日本において、彼らが無くてはならない存在となっているのが現実です。これらの皆さんが、安心して働き、楽しく生活できる環境づくりを、当協会として取り組んでいきたいと考えております。

石狩市民の皆さまにも、これらの外国人労働者との交流の機会ととらえて、新たな発見をしていただくことを望みます。今後も新たな取り組みにチャレンジしていきたいと考えておりますので、会員の皆さまには当協会の趣旨をさらにご理解いただき、一歩進んでお知り合いの方を新会員としてお誘いいただけましたら幸いです。

本年が会員の皆さまにとって、良い年となることをご祈念いたしまして、ご挨拶とさせていただきます。



令和7年度 いしかりにほんごサロン「はーとふる」

早いもので開設3年目をむかえました。石狩市民である日本語サポーター（以下、サポーター）をはじめとする多くの関係者の皆さまのおかげで、今年度の日本語サロンを無事に終えることができました。心より感謝申し上げます。

開設当初から、サポーターの皆さまと試行錯誤しながら、サロンを運営してきました。外国人学習者が楽しんで参加できるよう、ゲームの時間を設けたり、出張サロンやスノーランタン作りなども行った結果、3年間で延べ419人の外国人にご参加いただきました。

令和8年1月末現在、1,035人の外国人が市内に居住しており、人口の約1.82%です。令和7年1月末と比較すると、144人増加しております。令和8年度も日本語サロンを継続することが決定しました。2年ぶりに「日本語サポーター養成講座」を開講する予定です。詳細は、「広報いしかり4月号」をご覧ください。
(次ページに続く)



2025/5/25

出張サロンの様子。花川中央団地の集会所を借りて行いました。雨天でしたが、ベトナムの方10人が参加し、日本（石狩）での生活について会話を楽しみました。じゃんけん大会も盛り上がりました！



2026/1/24

スノーランタン作りの様子。ベトナムとインドネシアの学習者16人、サポーター8人が参加しました。寒空の下、石狩市役所正面玄関前で雪遊びを楽しみながら、皆で頑張って80基作りました！



7/27 (日) バス遠足



【行程】

- ①石狩消防署 (署内見学、はしご車&放水体験など)
 - ②本町地区 (砂丘の風資料館、旧長野商店、弁天社など)
 - ③道の駅「あいろーど厚田」
- 参加者：外国人学習者12人、サポーター6人



11/8 (土) 料理交流会



【メニュー】

おにぎり、みそ汁、焼き鮭、卵焼き、浅漬け

参加者：外国人学習者6人、サポーター4人



昨年度と同様に全12回開催しました。そのうち8回は「日本語を話す日」として、従来通り花川北コミュニティセンターで会話とゲームを行いました。残りの4回は、初の試みとして「日本語で遊ぶ&交流する日」を設けました。①出張サロン、②バス遠足、③料理交流会、④スノーラント作りです。5月と8月にサポーター会議を行い、その時に4回分の詳細を打ち合わせしました。そして、今年度のスローガンを「えがおでやさしく」に決めました。

「日本語を話す日」の中身も少し見直しました。今までは毎回決まったテーマがあり、それについて会話をしていましたが、今年度は外国人学習者に「お題Box」の中から紙を1枚引いてもらい、その内容について会話するスタイルを取り入れました。グループごとに異なるテーマで会話を楽しんでいたのが印象的です。



6/12



6/26



7/10



7/24

～「日本語を話す日」前期の様子～

初回から多くの外国人学習者が参加し、サポーターと会話やゲームを楽しみながら賑わっていました。7/24のサロンでは、石狩消防署から提供いただいた消防に関する動画を視聴し、札幌方面北警察署には出前講座にて防犯や自転車ルール、在留カードについて大切な話を頂きました。生活をする上で、消防や防災、防犯などについて学ぶことはとても重要です。有意義なサロンとなりました。



8/28



9/11



7/10



10/9



10/23

～「日本語を話す日」後期の様子～

昨年は国勢調査の年だったことから、会話のテーマに取り入れた日もありました。ゲームの時間は、担当サポーターに事前準備と当日の進行をお願いしたおかげで、毎回盛り上がりました。サポーターの皆さまのご協力に感謝申し上げます。しりとり、すごろく、折り紙、漢字ゲーム、どれも楽しかったですね！大変お疲れさまでした。さて、新年度はどのようなサロンにするか…今からとてもワクワクします。詳細は、5月のサポーター会議で決めたいと思います。

令和七年度 在任外国人に対する日本文化体験事業

7/13(日) さくらんぼ祭り

参加者 25人(子ども1人&スタッフ6人含む)
インドネシア、ベトナム、カメルーン、中国
行程 道の駅「あいロード厚田」⇒ふじみや(川下)⇒きむら果樹園(幌)⇒浜益ふるさと公園(ラパスオーシャン)⇒はまますピリカ・ビーチ⇒道の駅「あいロード厚田」

朝から快晴で、最高のバスツアー☀️道の駅「あいロード厚田」で小休止。浜益区の川下「ふじみや」では、ジャンボどら焼きの実演販売を体験し、いざ「きむら果樹園」へ。真っ赤に実った「さくらんぼ」を、お腹いっぱい頂きました。各々昼食を済ませ、「浜益ふるさと公園」からの絶景を眺め、みんなで記念撮影！当初の予定には無かったのですが、あまりにも暑かったため、事務局からのサプライズ企画として、前日に海開きした「はまますピリカ・ビーチ」の砂浜で自由時間を設けました。水辺を走ったり、靴を脱いで水遊びなど、とても楽しい時間を過ごしました。



8/9(土) ゆかたde出かけようin石狩

参加者 20人(着付けボランティア2人&スタッフ8人含む)
インドネシア、ベトナム、中国
行程 楽山居&石狩八幡神社(本町地区)⇒はまなすの丘公園(ビクターセンター)⇒盆踊り会場(こども未来館あいぽーと前広場)⇒石狩国際交流協会事務所

本町地区の弁天歴史公園内にある「楽山居」にて、参加者全員が初の浴衣に着替え、写真撮影や「石狩八幡神社」を参拝しました。「はまなすの丘公園」を散策し、ビクターセンターでは、限定「ハマナスソフトクリーム」に舌鼓を打ちました。「盆踊り会場」では、各々焼きそばや焼き鳥、ラムネなど、お祭りの出店購入体験をしました。食事後は全員で盆踊りの輪に交じり、見よう見まねで笑顔いっぱい初の盆踊りを体験しました。突然のスコールがあり、みんなが「やぐら」の下に一旦避難しましたが、その後、雨が上がった空には大きな虹が架かり、夏の長い一日が終わりました。



9/14(日) 秋のくだもの祭り

参加者 31人(子ども2人&スタッフ8人含む)
インドネシア、ベトナム、中国
行程 ニトリ観光果樹園(余市町)⇒農村公園フルーツパークにき⇒小樽運河(堺町)

前日からの雨が集合時間前には上がり、バスツアースタート！乗車時間の短縮を図り、銭函ICから余市ICまで、初の高速道路を利用。広い果樹園内では、りんご・和梨・プルーン・ぶどう全てが食べ放題となっており、参加者全員が大満足でした。果樹園限定品「りんごどら焼き」をお土産として全員にプレゼントしました。「フルーツパークにき」に場所を移動して昼食タイム。食後、再びバスに乗車すること40分間、最終目的地の「小樽運河」に到着！約2時間の自由時間を設け、グループごとに観光やショッピングを楽しみ、あっという間に時間が過ぎました。最後は、参加者全員で運河をバックに記念撮影！とても良い思い出になったバスツアーでした。



9/23(火・祝) 国際交流×パークゴルフ

参加者 14人(幼児1人含む)
インドネシア、ベトナム、中国
会場 東茨戸パークゴルフ場&茨戸ガーデン 

昨年は7月の炎天下の中の開催でしたが、今年は秋の開催で、3回目となりました。3カ国の外国人の参加があり、大半が生まれて初めてクラブを持つようで、珍プレーが続出し、笑いが絶えないラウンドとなりました。慣れてきた後半には、本人もビックリの好プレーが連発、大いに盛り上がり、貴重な体験となったようです。表彰式は、様々な肉の食べ放題、アルコールやソフトドリンクの飲み放題で、参加者全員がお腹いっぱいになりました。最後に抽選スタイルで景品をプレゼントし、スポーツ&食欲の秋を満喫しました。



11/15(土) クリスマスLEDリース作り

参加者 21人(子ども3人&幼児1人&スタッフ3人含む) カナダ、ベトナム、中国
講師 花乃大道 高井舞子氏
会場 花川北コミュニティセンター

クリスマスに向けたワークショップを開催しました。まずはグルーガンを使って土台となるリースに葉っぱを貼り、次にピンクとブルーの花々や松ぼっくりなどを飾りました。ポイントとなる「雪だるま」を飾る位置や角度も大切です。皆さん、高井先生からアドバイスを頂きながら、丁寧に、そして黙々と作業を進めました。そして…、世界に一つだけのオリジナル「クリスマスLEDリース」が完成！

今回の作品は、何と3WAY。①リースを寝かせて真ん中にLEDキャンドルを置く、②リースをキャンドルに立てかける、③リースは壁に飾って、キャンドルとは別に楽しむこともできます。



ワールドフェスティバル2025 in 石狩

開催しました

23回目となる「ワールドフェスティバル2025in石狩」を、10/5（日）に開催しました。

JICAの研修員をはじめとする道内在住のインドネシア、カナダ、中国、ギリシャ、オランダ、ベトナムなど14ヶ国40名の外国人が本イベントに参加し、ステージ出演者を含むスタッフ及び関係者は180名、来場者は約300名でした。

外国ブースはJICAを含め8つ、その他に食品・雑貨販売や無料体験ブースを設けました。国際色豊かなステージ発表、そして自由参加型の「いす取りゲーム」では勝者に景品をプレゼントし、大変喜んでいただきました。6年ぶりに石狩市公認キャラクター「さけ太郎&さけ子」も遊びに来てくれました！

毎年の目玉でもある「北海道中国武術倶楽部」による獅子舞や武術演武に来場者は魅了されました。オランダブースでは「石狩市とオランダの歴史的な接点が詳しくまとめられていて、とても勉強になりました。」という来場者の声もいただきました。

ワールドフェスティバル実行委員会の片平一義委員長の閉会挨拶。「たくさんの来場者やボランティアスタッフ、関係者など、多くの方々にご協力をいただき、心より感謝申し上げます。道内在住外国人と地域住民の異文化交流の場として、今後も新しいことを取り入れながら継続していきます。どうもありがとうございました。」



オープニングの様子。国旗カードを持って自国の紹介をしました。



自由参加型「いす取りゲーム」の様子。笑顔で記念写真におさまっているのが大人の部の勝者2人（左）。子どものは、安全のため小学低学年と高学年の二部制にし、白熱した戦いが繰り広げられました（右）。



(写真左から)

来場者との交流を楽しむカナダブース。ベトナムブースでは雑貨やバインミー（ベトナム風サンドイッチ）などを販売。初出店の北海道手話通訳問題研究会道央支部石狩班は雑貨や衣類を販売。読み聞かせ「子っ子の会」の紙芝居には多くの子ども達が集まりました。



(写真左から)

北海道中国武術倶楽部による演武のフィナーレ。黄色い獅子も一緒にポーズ！初出演「ポロカリーノ」による南米楽器の演奏。中国の二胡と琵琶の演奏。透き通る音色でした。インドネシアのステージでは伝統楽器アングルンを演奏し、素敵な歌声を披露しました。

今年の開催日は… 2026 / 10 / 25 (日) (予定)



日中友好交流都市中学生卓球交歓大会

出場しました

～白い卓球ボール 3★を交流の架け橋に～

2025/8/3(日)～8/8(金)、中国・北京市で開催された【日中友好交流都市中学生卓球交歓大会】に、石狩市立厚田学園9年生(中学3年生) 姫野さくらさんと同校8年生(中学2年生) 八木沼成那さんが出場しました。日中姉妹都市の中学生が混合チームを組んで試合をする卓球大会で、石狩市は2回目の参加となり、前回は2017年でした。選手2人、監督や関係者など一行5人が北京を訪れました。

「友好第一」をテーマに、卓球大会で汗を流し喜びを分かち合い、友好の思い出作りを目的とし、日本からは、41の自治体から82人の選手が参加しました。

参加選手2人から、大会参加の感想をいただきました(抜粋文)。



姫野 さくらさん

「私がこの大会を通じて学んだことは、文化の違い・技術の差・コミュニケーションの大切さでした。食とトイレの文化の違いには、とても驚きました。卓球の技術の差では、ナショナルチームの選手と打った際に、貴重なアドバイスを受けることができ、今までにない観点から様々な学びを得ることができました。言葉が上手く通じなかった中国の方々だけではなく、初めて会う日本の方々とも交流ができ、一緒にいた時間は短かったですが、とても忘れられない大切な仲間が増え、コミュニケーションの大切さを感じました。この経験は、私にとってかけがえのない素晴らしい思い出となり、この先の人生に役立つと信じています。初めての海外で私たちを支えてくれた皆さんに感謝いたします。」

八木沼 成那さん

「今回の大会を通じて、様々な発見と日本とは違う文化・卓球についてなど色々なことを学ぶことが出来ました。親元をたった数日間離れたただけなのに、自己管理の大切さに気付かされました。これは来年の修学旅行の時に役立ってます。唐辛子のスープはとても辛かったのですが、不思議な事にしばらくすると、また食べたくなるほど美味しかったです。また、お店で売っている飲み物が、冷やされていない事に驚きました。身体を冷やすと良くないため、冷たい飲み物が少ないようです。卓球では技術の交流が出来たと思えました。この経験を学校生活や部活動で生かし、今後の生活に繋げていきたいと思えます。謝謝您！」

短い期間でしたが、選手2人にとって一生の思い出になるでしょう！



(写真左から)



ほうしゅう

北京体育大学にて行われた開会式の様子。式の後、石狩・**彭州**合同チームで記念撮影。中国と姉妹都市提携している国内41の自治体と、中国側とが男女混合チームを編成し、試合に挑みました。決勝戦後には、中国卓球強化選手からの講習会も行われました。



試合の様子。揃いのユニフォームを着て、奥に写っているのがヨウさんと八木沼さんです。ファイター！加油！



(左から) **彭州**：チョウ・シュンイさん、ヨウ・シンメイさん、**石狩**：姫野さん、八木沼さん



石狩・**彭州**合同チームでハイチーズ！食事を交えながら友好を深めます。到着後、選手たちは持参したお土産を交換しました。



～姉妹都市カナダ・キャンベルリバー市からのお客さま～

Cameron is back!

キャメロン・ステュワートさんが石狩市を35年振りに再訪!

キャメロンさんが初めて石狩町(当時)を訪れたのは、小学6年生だった1991年3月。第3回ヤングアンバサダープログラム(※)の一員としてでした。実は、その数年前からキャメロンさんの家庭では、石狩からの高校生交換留学生をホストファミリーとして受け入れていました。今回の再訪は、1989年当時、ステュワート家にホームステイをしていた元留学生の高井史朗さんを通じ、35年の時を経て実現しました!そして何と、妹のキャサリンさんは1999年度の元留学生。姉妹都市である両市の「ご縁と絆」を強く感じます。

現在は、ブリティッシュ・コロンビア州ネルソン市にある、セルカーク大学クートニー・スタジオ・オブ・アーツで陶芸講師として活躍中のキャメロンさん。大学の専門能力開発基金プログラムを活用して、2週間の予定で来日しました。現代と古代の陶芸に焦点をあて、薪で窯を高温にして陶器を焼成することを専門としています。日本の薪窯は世界的に有名なことから、その技法を学ぶとともに陶芸家たちと交流することが今回の来日目的です。石狩滞在はわずか数日間でしたが当協会にお越しいただき、そして、石狩市在住の陶芸家で北海道陶芸会顧問の前野右子^{ゆうこ}さんを訪問、江別市セラミックアートセンターを視察し地元の陶芸家と交流、白老町まで足を延ばしウポポイを視察するなど、大変有意義に過ごされました。またいつでもいらして下さい! See you!



(写真左から)

- ・当協会で、1991年当時のアルバムを見ながら思い出話に花を咲かせる様子。
- ・アルバムの中からカワイイ写真を発見! 懐かしさと感動の中、人生2回目となる着物の着付け体験も楽しみました。
- ・陶芸家の前野右子さんと尾形修一さんご夫妻と交流を深める様子。

(※)ヤングアンバサダープログラム⇒少年少女親善訪問団事業のこと。1987年から2019年まで両市の小中学生を隔年で派遣&受入した。

会員募集

石狩国際交流協会の会員になって、国際交流の輪に参加してみませんか?

■年会費

個人 2,000円
 個人事業主 5,000円
 法人 20,000円

■お申し込み

石狩国際交流協会事務局まで

会費納入のお願い

日頃より、当協会の活動に対し、多大なご理解とご支援を賜り、誠にありがとうございます。皆様にお納めいただいている会費は、当協会の活動を支える主要な収入源のひとつです。協会事業を円滑に推進するため、会費納入をお願い申し上げます。



◆発行・編集

特定非営利活動法人石狩国際交流協会 事務局

◆〒061-3217

石狩市花川北7条2丁目11
 TEL: (0133) 62-9200
 FAX: (0133) 62-9201
 E-mail: iia@dream.ocn.ne.jp



公式サイト



Ishikari International Association

石狩国際交流協会 検索 

公式サイト <http://www.npoiaa.jp/>

 <http://www.facebook.com/NPOIIA>